

大橋あきお

大阪府議会議員

通信

2016年 秋冬号

発行：大橋章夫府政事務所
〒573-0027 枚方市大垣内町2-17-5 ダイショウビル301
TEL: 072-861-0117 / FAX: 072-861-0116

大阪府議会 9月定例会一般質問より



□本会議で質問する大橋府議

4月に発生した熊本地震、10月の鳥取地震と、今年も大きな災害が我が国を襲いました。いつ発生するかわからない災害にどのように備えるのか、市民の安心安全をいかに守っていくのか、行政の最優先課題です。その上で、新たな都市

インフラの整備、子育て支援の充実など、魅力あるまちづくりを進めていかなければなりません。大橋章夫府議は、大阪府議会9月定例会の一般質問において、安心安全、魅力あるまちづくり等について質問しました。

枚方市駅周辺再整備について

地元枚方市では京阪枚方市駅周辺再整備について検討が進められています。大橋府議は、その中の柱の一つである、老朽化した枚方市庁舎の建て替えに合わせ、駅周辺に点在する税務署や労働基準監督署などの国の機関や、府税事務所や土木事務所など府の出先機関が入居する北河内府民センター等を集約して一体化する案が検討されていることを

示し、人口40万人という府内でも有数の都市である枚方市の一大まちづくりに、大阪府として積極的に協力していくべきであると強く要望しました。

大阪府は、枚方市の検討結果をもとに、広域自治体として必要なサポートを行うなど、枚方市が目指すまちづくりの実現に向け、協力・連携に努めていくとの考えを示しました。

熊本地震の教訓を生かした災害医療体制

4月14日そして16日、震度7の地震が連続して熊本を襲いました。大橋府議は、被災地熊本を訪問した中で、基幹災害拠点病院の熊本赤十字病院が、他の病院との連携で役割を果たすことができたエピソードを紹介し、南海トラフ巨大地震での被害想定を踏まえ、災害拠点病院とその他の病院との連携の重要性を指摘しました。

大阪府は、19の災害拠点病院を整備するとともに、271病院を災害医療協力病院として位置付け、今年度から共同訓練や研修を実施すると答弁しました。また、市町村庁舎が損壊したり、自治体の職員が不足し、り災証明が遅れたこと

などについても、市町村向けの研修や救援物資配送マニュアルに反映するなどの対応策を明かしました。



熊本赤十字病院を訪問

府立支援学校の運営について

大橋府議は初当選以来、支援学校の保護者の皆さんからの声をもとに、教育委員会に要望活動を行ってきました。今回の一般質問で、まず、子どもの特性に応じた教育の推進について質問しました。支援学校には、様々な障がいを持った児童生徒が通っています。また、その児童生徒には一人一人に違った個性があることから、教員の専門性を向上させるための取り組みを求めました。教育長は、府教育庁による講習

に加え、行内研修を実施し、他校の実施内容も活用できるようにしていくと答弁しました。

また、体調管理の困難な児童も多い支援学校の、特別教室へのエアコン設置についても要望し、教育長は、さまざまな配慮を要する児童生徒が在籍する支援学校の、個々の学校の状況を見極めて対応していくと答えました。

